

<b>A 2 9</b> <b>初級～</b> (実習あり)	<h1 style="margin: 0;">発明の本質を捉える</h1> <p style="margin: 0;">～発明の捉え方とまとめ方～ 技術の思想化への導き</p>
講師	重田 暁彦 (日本パテントデータサービス(株) 顧問、元 富士通(株) 特許企画部)
日程・場所	東京会場
	9月6日(金)
時間	1日(10:00～16:00) // 昼休憩 11:45～12:45
アクセス	<a href="http://www.jpds.co.jp/company/access.html">http://www.jpds.co.jp/company/access.html</a>
定員	24名(先着順申し込み)
受講料(税別)	20,000円
対象	研究開発者、知的財産部門の実務者
<b>内 容</b>	
<p>企業の研究開発活動において、研究者や技術者はどのように発明を捉え、権利化を図るべきかをお話しし、演習を通してより一層の理解を深めて頂く講座です。</p> <p>製品開発の様々なシーンから発明に気付いてもらうことに始まり、最終的には他社が困るような影響力のある強い特許権を確保するためにはどのようにすればよいかを考えます。さらに、発明を技術の思想へ昇華させる方法を長年の経験を持つ講師が分かりやすく紹介します。技術開発部門、製品企画部門から知的財産部門の方々までを対象としています。</p>	
<b>プログラム</b>	
1. はじめに <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最近の判例の傾向</li> <li>・ 有効特許とは</li> </ul> 2. 開発の成果(発明)を漏れなく捉えるために <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特許の権利化促進とは</li> <li>・ 特許権の取得事例</li> <li>・ 開発現場からの発明意識</li> </ul> 3. 開発の成果から発明を見つける、意識する <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発明の捉え方の観点</li> </ul> 4. 発明をまとめる ～発明を漏れなく把握するために～ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アイデアの整理</li> <li>・ 機能展開</li> </ul>	5. 演習 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 各自演習             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 発明を捉え、拡充する</li> </ul> </li> <li>➢ グループ演習             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 発明を捉え、拡充する(アイデアの集合・整理)</li> <li>✓ 機能展開による発明要素把握(機能展開図作成)</li> </ul> </li> <li>➢ グループ演習             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 機能展開による整理された発明のまとめ</li> </ul> </li> <li>➢ 各自演習             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 請求項作成</li> </ul> </li> </ul> 6. 演習解説

## 【お申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <http://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

## 【備考】

セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

## 【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。